

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 古谷スミ子 幹事 諸星道治 会報委員長 鈴木和夫



LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを

2014年～2015年度国際ロータリー会長
ゲイリーC. K. ホアン

第1409回例会 2014年9月25日(木)(雨)

司会 梅原正美副幹事

点鐘 古谷スミ子会長

合唱 「手に手つないで」(伊藤彩夜加さん)

唱和 「四つのテスト」(原 郁夫君)

祝結婚記念日 相原(宏)君 三留君 佐藤君(10/1)

祝誕生記念日 <会員>淵脇さん(10/1) <会員・ご主人>陶山君(9/25)

祝創業記念日 多田君 米山君(10/1)

会長報告

○ 会長・幹事会(9/18(木))報告

1、高校生への奨学金について

当クラブは県立曽屋高校が対象→希望者なしで報告

2、10/18(土)、19(日)の地区大会において「規定審議会立法案」について賛否を取ります。これに対して10/2(木)、協議会で検討します。選挙人として原 郁夫君、私がクラブ代表で出席。

○ 「公共イメージ向上」に向けて“公共イメージ賞”が設けられています。昨年度は秦野中RCが3位に入賞(市民の日の活動)しました。

○ 今日は新会員の小澤さん、山谷さんに卓話をお願いしますが、印象に残っている卓話があります。元会員の加藤 章さんの卓話です。“一番美しい桜”というお話でした。加藤さんはいつもオーストリッチのセカンドバッグを持っていたらしい。「加藤さん、男性は荷物を持つのを嫌がりますが、いつもバッグをお持ちですね」と軽い気持ちで言いましたら、「私は目が大変悪いのです。ですから遠くを見る物、事務仕事をする時用の物、会合に出る時用の物、など、カバン

と言ひ、小田原の市民病院で目の手術をした時の話をして下さいました。

同じ病室の人は目の手術を受けた人ばかりで目が良く見えない人ばかりでした。季節は春でちょうど桜の花が満開。外に桜の花を見に行こう、と部屋の人たち、加藤さん(この中では加藤さんが一番見えているので先頭にしてい)で手をつないで行こう、という事になりました。子供のころやった汽車ポッポで先頭の人の方に手をかけ、次の人は前の人の方に手をかけて外に出ました。ほとんど見えない目で見た桜の花は生れてはじめて見た桜の花のようで、綺麗だ、綺麗だ、と皆がいい、今まで見た桜の花の中で一番うつくしい、と思いました。そして私は生きてきて、目が見えるのは当たり前だと思っていたが、手術をして目が見えると言う事、歩ける事がどんなに有難い事かわかりました。という内容の卓話でした。私は入会して10数年になりますが、今までで一番心に残っている卓話です。卓話では皆さんが経験した事、思った事をお話しして頂ければと思います。

○ ガバナー事務所より

① 2017～18年度ガバナー・ノミニ選出の件
指名委員会構成

委員長・・・奥津光弘(秦野中)

委員・・・後藤定毅(大和中)

委員・・・森 洋(横須賀北)

委員・・・菅原光志(鎌倉)

委員・・・相澤光春(ふじさわ湘南)

② 2017～18年度ガバナー・ノミニ候補者提案
に関する告知

会員数	45名
出席数	33名
出席率	73.33%
前々回の修正	75.35%

メイクアップ	
--------	--

本日のプログラム	10月2日 ○ 卓話 加藤君 (米山について) ○ 理事会
----------	--

次週のプログラム	10月9日 ○ 移動例会 (歌舞伎座公演ギャラリー見学)
----------	------------------------------------

の中に沢山入っていて、その都度、使い分けています」

国際ロータリー細則13条の規定に基づき、2017

～18年度ガバナー・ノミニ候補者として貴クラブから最適任の会員を2014年11月19日(水)12:00までにガバナー事務所気付 地区指名委員会宛に郵送または持参する事を要請します。

③ 青少年交換プログラム・アンケートのお願い

期 日 10/3(金)

提出先 ガバナー事務所

幹事報告

[週報受理] 寒川

[受付文書]

- 国際ロータリー日本事務局経理室より 2014年10月のレートのお知らせ 1ドル=106円

[本日の配布物] 「米山記念奨学会2014-15年度版豆辞典」「ガバナー月信」「ロータリーの友」

- 10/19(日) 地区大会への出欠表を回覧中です。(バスの用意の為、人数を把握)

スマイル報告

- 古谷スミ子さん ①「新会員お二人の卓話を楽しみにしています」 ②「先日、中学生英語スピーチコンテストに行ってきました。素晴らしいスピーチでした」
- 諸星道治君 「スマイルします。新会員、小澤さん、山谷さんの卓話、楽しみにしています」
- 三留文雄君 「結婚記念のお祝いありがとうございます」
- 淵脇美代子さん 「御殿場は金木犀の香りがとても良いです。誕生祝いありがとうございます」
- 陶山典之君 「妻の誕生日祝い、ありがとうございます」
- 多田嘉之君 「10/1が会社の創業記念日です。74期に入っています」
- 米山君夫君 「創業記念頂きありがとうございます。今年で46年になります。今後とも頑張っていります」
- 高橋幸雄君 「9/21(日)、英語のスピーチコンテストに参加してきました。中学生の語学力とパフォーマンスに感激しました」
- 桐山晃忠君 「とにかく、スマイルしながらスマイルしましょう！」
- 西村隆之君 「スマイルします」
- 小澤 賢君 「卓話宜しくお願いします」
- 山谷洋子さん 「本日、卓話をします。宜しくお願い致します」
- 柳川清紀君 「早退します(具合が悪いので)」

合計 40,000円

委員会報告

- 社会奉仕委員会 前 肇委員長

① 「広島災害への義援金」について

欠席されていた方のご協力をお願い致します。

② 「たばこ祭りパレード」参加について。

日時 9/27(土) 12:40集合

場所 本町小学校プール横就航

※ “ベスト” 着用(当日配布)

パレード終了後、やなぎ家本店にて食事

- 職業奉仕委員会 三留文雄委員長

「優良従業員表彰」について

各会員の事業所で対象者がいましたら推薦して下さい。

- 国際奉仕委員会 高橋幸雄委員長

「フィリピン・パガサ図書館」検証視察の収支報告書を回覧しています。

卓話

- 「私と仕事」

小澤 賢君



私自身、若輩者で、いままでの人生経験も乏しく、皆様に聞いていただくような特技もございません。つまらない話で大変恐縮ですが、自己紹介がてらの雑談をさせていただきます。

入会の紹介の際にお話しさせて頂いた通り、私は、秦野市は戸川で設備業を営んでおります。私は2代目にあたり、先代である父親が立ち上げた会社を、今現在引き継いでおります。ですので、自分が小さいころから、朝早くから夜遅くまで働く両親を見てきました。当時は自営業で社員もおらず、父ちゃん母ちゃんと一緒に現場に出て、家族を養ってきた時期が、私の幼少期の記憶であり、いまでも鮮明に覚えております。

そんな小澤家なのですが、当時はそれが当たり前であった、小澤家のルールがありまして、

「中学生になったらお小遣いは中止。すべて働いて稼ごうなさい。」

と言われ、とにかくいろんなことをやらされました。

といいますか、小学生のころから、アルバイトという名目で、なにかをすることで対価を得る。というルールがすでに存在し、中学になるころには、それがいいよ本格的になってきました。今考えれば、大して役に立つようなことじゃなかったと思います。それはともかく、両親は「働いて対価を得る」ことを学ばせたかったのだと思います。

さて、そんなアルバイト中学生も、後半になると結構仕事も覚えておりまして、現場に行き、自ら作業をやるぐらいに成長しておりました。高校生にもなると、夏休みなどの長期連休に伴って、自分担当の工事範囲をあてがわれ、人員確保のために、自身の友人もアルバイトに招き入れ、これらを手元に現場に行き、一緒に作業をしておる始末。当時を振り返ると、今の世間では考えられない状態だったと思われま。

その後、社会人になった時には、別の会社に就職したわけですが、ここの会社は、やりがいはあれど、非常に厳しい環境でして、在籍した10年間の間で、先輩後輩併せて何人退職して行ったか、数えるのが大変なくらいでした。そんな退職者が続出する会社でしたが、私自身としては、むしろ楽しい環境でした。知らないうちに親から貰ったバックボーンが作用し、物心つくころから、労働するというのに、何も疑問もなかったことも手伝って、一から作り上げて完成させる、ものづくりが無性に楽しくて、徹夜だろうが休みがなかろうが、楽しみながら仕事をしていたと思います。

そして、実家に戻ることにあります。帰ってきたきっかけは、父親が倒れたことです。いまから15年ほど前、おやじが早朝に自宅で倒れ、ヘリコプターで東海大学に運ばれたと、母親から連絡を受けました。その時、ちょうど自分の現場の竣工検査最中であり、抜けることも出来ないの、終わったら行くとだけ伝えて、自分の家族だけ先に行かせました。

「ああ、もう会えないなあ。仕方ないか」とあきらめて、そのまま竣工検査を進め、その後もなかなか抜けられず、病院に行ったのはもう夜になってしまいました。ここまで話すと、もう死んじやったかのような説明ですが、無事、生きておりまして、今も元気しております。

私が病院へ着いた頃には、意識も回復しておりました。久しぶりに会った父親は、点滴や呼吸器など色んな装備がくっついて、意識が朦朧としているし、しゃべろうとしているけど、なにを言っているのかよくわからない。「あれ？こんなだったかな？」と、怖かったおやじのイメージが、その瞬間フッと抜けたような感覚でした。そんな弱った父親を目の前に、実家に帰ろうと決意した次第ですが、前職を退社するにあたり、それから1年ぐら整理に時間がかかりまして、その頃には、親父の体調も、元の状態とはいかなくとも、普通に生活できるように回復しており、仕事も再開しておりました。

話はそれますが、私は、そもそも「家業を継ぐ」ということはまったく考えておらず、いずれは起業して、自分で会社を立ち上げたい。そう考えておりました。恵まれた環境で、とにかく協力してくださる方々が、自分の身のまわりに沢山いらっしゃったのも、そういった意識を芽生えさせてくれたと思います。その時の上司も、私の思いを尊重してもらっており、とにかく起業を目指す人間として、暖かく教えを受けさせて頂きました。そんな前職につきながら、いつかの起業に向けて、下準備や勉強をしていた矢先の事でしたので、このタイミングかと複雑な心境でしたが、家業を継ぐことを決意しました。というわけで、帰って参りました。

帰ってからというもの、とにかく親父とのケンカの日々が続きました。死にそうになっていたと思っていたのに、ずいぶん元気じゃないかと。とにかく、何で帰ってきたのだらうと、あの時は本当に後悔しました。私側からの一番のケンカ理由としては、恥ずかしい話ですが、上司が父親であることが原因だったと思います。客観的な評価が出来ない。向こうもこちらを認めてくれない。とにかくな

にを提案しても却下。もしくは文句。でも、自分としても、今の会社の状況をどうにかしなくてははいけない。そういった悶々とした日々が続きました。お互いを認めつつも、とにかく意見の食い違いが多く、なにしろ些細なことですぐ言い合い、無駄な体力を消耗しておりました。これが2〜3年ぐら続いたでしょうか。

ところがある日、大きく会社変化が必要な時があり、一新するきっかけがありました。この相談を父親にしたところ、

「もうお前がやればいい。あとは任せる。」

と言われ、そのあと、トントン拍子であっさり代表を交代してしまいました。3年間は、会長として在籍してもらっておりましたが、とにかくスッカリ、全く会社運営に口出しをすることが無くなりました。あれからもう10年が経ちます。

なんとかドタバタの10年が経ち、おかげさまで、会社もなんとか維持できるような形になってきました。いままでの社員もメキメキ力をつけ、若い社員も増え、頼もしい集団になってきました。こうなると、自分にも少しですが、ものを考える時間が取れるようになり、今までの事を振り返るようになりました。恥ずかしながら、今更になって自分を客観視することが出来るようになった次第です。

最近、弊社にも若い社員が数人入社しまして、若い彼らには、特に楽しんで仕事をさせなくては行けないと思いつつ、なかなか現実的には難しいものだと痛感しております。自分の教育者としての実力不足が一番の原因です。なかなかうまく経験させてあげることが出来ません。うまく若い社員を楽しませることが出来ない自分を、改めて客観的に考えました。私はおそらく、「仕事をする」ということと、「遊んでいる」ということが、自分自身の感覚にあまり違いがない。とにかく、状況に応じて、いかに楽しんでやるかを、体が勝手に作用しているように思えます。そしてそれは、すべて両親の教えがあったこそであると。いまさら気づいた次第です。

さらに、そんな自分は、仕事の楽しさもつらさも、なにしろ自然に受け止めすぎて、これらを経験としてみんなに説明してあげることが苦手です。それ故に、部下には、実際に成功や失敗を経験させることがへたで、転ばぬ先の杖といえますか、すぐに、ああしろ、こうしろ、こうやっちゃだめだと、自ら考えさせる前に、答えを全部指示してしまいます。但し、この性格は完全に父親譲りであって、私も当時まるっきり信用されずに、いちいちケチを着けられていたからこそ、ケンカばかりしていたのだと気づき、そして、任せてくれるようになったら、あっさりと、失敗の恐れも問わず自由にやらせてくれた。あの時は、「本当に何も手伝ってくれないのかよ」と思ったこともありましたが、それが父親の器量であり、自分にはまだ無いもの。これを参考にすればよい。と、確信しました。昔素直に認められなかったことが、今となって感謝に変わりました。

結局のところ私は、親の背中を見て育ち、気に入らない親父のやり方と同じように物事を進めて、現在に至っているのが自分自身だと。これがオチでございます。今でも親父と仕事話をする、ムカツと来る時もあるので、本人に

直接感謝の気持ちを述べることは、永久になさそうです。
ここで話した後は、もう誰にも話しません。

以上が私のつまらない自己紹介でした。御清聴ありがとうございました。

○「私と仕事」

山谷洋子さん



皆様こんにちは。今日は2つお話をしたいと思います。

1 つは仕事について 現在ビジネス情報と情報科総合実践を受け持っています。ビジネス情報はワードとエクセルとアクセスをおこないますが、今は9月下旬に情報処理検定がありますのでそれにむけて生徒たちは頑張っている所です。情報科総合実践では電子商取引と株を行っています。電子商取引では1人1社、商店を開き商品を自分で考えブレゼンを行い、コンピュータを使用して仕入れ会社、販売会社、そして売買を行い決算までおこないます。株は1社選択し1年間株価を観察し、政治経済とどんな関係があるかなどを学習します。

2つ目は部活です。現在ボランティア部に所属していますが、このボランティア部でインターアクトの活動をおこなっています。みなさんはご存知ですがインターアクトはロータリーの新世代奉仕の中にある12才から18才までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。厚木商業は2003年7月に認証を受けました。提唱クラブは厚木中ロータリークラブです。当初、部員は2年生の女子生徒2名しかいませんでした。その後卒業した後、約4年間ボランティア部は休部しましたが、その後、顧問になり当初は部員が誰もいませんでしたので、4月初めにクラブ紹介がありその時に1名が入部し、それからは少しずつ人数も増えてきました。2011年には「インターアクト年次大会」のホスト校として、神奈川工科大学をお借りして「年次大会」を開催しました。当時部員は14名で、年次大会資料も自分たちで作成し、製本まで行いました。その時、地区 DIR をしていた部員が大学進学を希望していましたので2780地区から推薦書をいただきました。おかげ様で見事神奈川大学法学部に入学し 今ではインターアクト学友として、地区のインターアクトクラブのお手伝いをしています。彼にとって推薦書をいただいたことは大変有効で有り難く、彼の将来にとって大変意味のあるものでした。その後は、部員も増え活動も活発になりました。

今年度は8月4日のあゆまつりの日にロータリー主催のポリオ撲滅キャンペーンに参加しました。ポリオについて

は厚木中ロータリーの方から事前にレクチャーを受け学習し、おおいに募金活動に役だったと思います。

また、10月には、職場研修として厚木の福昌寺で座禅、写経、精進料理を体験します。昨年度も行いましたが、座禅や写経は緊張しながら臨んでいましたが、精進料理では足のしびれも忘れていたようでした。

また 10月の2780地区大会にも参加させていただきました。

ほかに インターアクト年次大会、また厚木中ロータリークラブのクリスマス会、厚木七沢で行われる一泊研修には実行委員になり頑張っています。

これら1年の活動を通して生徒たちはボランティアの楽しさや厳しさ、また他校との交流を楽しみながら生きる力を学び将来に役立つことを期待しています。

ありがとうございました。

◎2分間スピーチ

○ 伊藤彩夜加さん

「秦野名水 RC 美食同好会(MBC)」を発足いたしました。

- ・年会費は無し(その都度実費)
- ・入会・大会は自由
- ・目的 会員相互の親睦を深める
食に対する知識を深める
- ・開催回数 年度内2回以上
- ・役員 会長 多田嘉之君
幹事 中島賢治君
会計 伊藤彩夜加さん

○ 第一回秦野名水RC美食同好会(MBC)開催のお知らせ

日時 10/23(木) 11:10 秦野商工会議所出発

行程 12:30~14:00 工場見学

14:15~ 食事

会費 7,000円

※出欠表を回覧しています。多くの方のご参加をお待ちしています。

==たばこ祭りの防犯パレードに参加しました！==



=====